

第2回 大和高田市シビックコア周辺地区まちづくり意見交換会 議事要旨

日 時：平成 29 年 1 月 18 日（水）14：00～15：10

場 所：大和高田市役所 4 階 合同委員会室

出席者：別紙のとおり

1. 開会

副市長あいさつ

事務局より、委員総数の3分の2以上が出席しているため、会議が成立するとの報告を行った。

2. 意見交換会

議事 1. 第 1 回議事要旨について

事務局より、資料 1 の「第 1 回議事要旨」について修正箇所などがあれば事務局に知らせてほしい旨の説明と、議事要旨を市のホームページに掲載することについて報告を行った。

質疑応答なし。

議事 2. スケジュールについて

事務局より、資料 2 の「シビックコア周辺地区まちづくり基本構想・基本計画策定スケジュール」について説明、次回の意見交換会は 3 月 2 2 日に開催予定であることを報告した。

【質疑応答事項】

<会長>

説明のあったスケジュールについて、質問、意見はありませんか。

<委員>

資料では、今年度末の 3 月にまちづくり基本構想の策定を行い、その後の平成 29 年 4 ～ 8 月までが調整期間となっています。その調整の間に、基本構想が変更されることもあるということでしょうか。

<事務局>

基本的に、変更はないと考えています。大和高田市新庁舎建設検討の結果が平成 29 年 8 月に公表されるため、それとの整合を図るための期間を置いています。

<委員>

表向きに公表するのは8月で、その間まではオーソライズ（承認）はするが表には出さないということでしょうか。

<事務局>

そのとおりです。

<会長>

まちづくり基本計画策定の目途について、教えてください。

<事務局>

平成30年3月末に策定を予定しています。

<会長>

まちづくり基本計画策定後の調整期間の意味について教えてください。

<事務局>

大和高田市庁舎が老朽化しているなかで、本市としては新庁舎の整備を最優先として考えています。新庁舎の位置について決定した上で、県との個別協定を締結し、先行的に事業着手したいと考えています。また、新市庁舎以外のまちづくりについても調整する必要があるので、調整期間を設けております。

議事3. まちづくり基本構想（案）について

事務局より、資料3-1「シビックコア周辺地区まちづくり基本構想案（本編）」、資料3-2「シビックコア周辺地区まちづくり基本構想案（資料編）」、資料4「市職員ワーキンググループ検討報告書」、資料5「第1回市民ワークショップ開催結果報告」について説明を行った。

【質疑応答事項】

<会長>

まちづくり基本構想（案）について、質問、意見はありませんか。

<副会長>

全体の概要を読み、内容の濃い資料だと思います。感想でもありますが、資料3-1のまちづくり構想は、現実的な事業化を踏まえた案であるという印象です。一方、資料4は、市民ならではというか、地元を理解された方々がまちの将来を見据えた案ではないかと感じました。資料3-1は、シビックコア周辺地区内を考えているもので、前提条件として

シビックコア周辺地区という位置づけを示した中で、特に老朽化した市役所の耐震化を早急に解決することが重要視されています。資料4は、市民のことを第一に考えたというか地元の方が暮らしてみていることを踏まえた案ではありますが、シビックコア周辺地区を越えた市全体のこと、例えば総合体育館や警察署の移設までを含めるといった内容となっているように感じました。どちらの案をとるかという、市民の意見を踏まえた形になると思いますが、3月にあと1回の意見交換会しかないので、今回ある程度の方向性をまとめる必要があるでしょう。

市役所新庁舎が高田川の西側になるのか、東側になるのかが重要になると思いますが、事務局として、今後どのような方向性で考えておられるのか教えてください。

<事務局>

事務局としては、市役所新庁舎の建替えについては、緊急性があると認識をしており、現状において活用できる土地で、早急に建替えたいという思いがあります。そのため、事務局案としては、資料3のとおり旧高田総合庁舎跡地での市役所新庁舎の建替えを行い、それを踏まえて地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。

<会長>

事務局からの説明もありましたが、今の説明についても併せてご意見をいただきたいと思います。

(市庁舎建設位置については)高田川の西、東側について様々な意見があると思うが、シビックコアの周辺地区まちづくりについての現実的な課題として、本市では最適な土地利用を考えた上で市役所新庁舎を中心に基盤を固めていきたいという考えがあります。

しかし、「こういう考えもある。」ということもあれば、忌憚なく意見をいただきたいと思います。

<副会長>

(資料4、ワーキンググループ案にあるように)高田川の東側に市役所を移せば、駅に近くなるというのは貴重な意見と考えます。ただ市役所への来庁者を見た場合、JRや近鉄を使って利用される方は多いのでしょうか。本市に居住の方が利用する大和高田市役所へは車での利用が多いと思いますが、ワーキンググループの考え方はどうですか。

<事務局>

ワーキンググループの考えは、立地適正化計画(未策定)による将来のコンパクトシティプラスネットワークの考え方を取り入れ、高齢化によって運転する高齢者も減るので、その移動の手段は鉄道駅を中心として徒歩や公共交通機関の利用促進を図るべきだということです。大和高田市ではきぼう号が運行されていますが、運行時間帯の見直しにより、

徒歩や公共交通機関を使って来庁してもらう方向性を視野に入れて検討しています。現実をみると今すぐには、難しいと言われるかもしれませんが、市役所の建替えにあたって将来を見据えれば、その方向性を目指すべきではないか、という考えであります。

<副会長>

きぼう号とは何ですか。

<事務局>

コミュニティバスの名称であります。

<会長>

コミュニティバスの運行形態を2台から3台に増やして運行しています。市としては、市役所やその他公共施設の立地の利便性を考えながら、公共交通のネットワークの充実を図る必要があると思っています。

ワーキンググループの構想図案では、市役所新庁舎が現在の場所（保健センター周辺）に現実的に建設できるか、窮屈なのではないかという感想を持っています。

<事務局>

（ワーキンググループでは）仮に市役所新庁舎を保健センターに隣接する案であれば、中和労働会館用地を取得し、各施設の共同駐車場としてはどうかという案であります。

中央公民館についても市役所と併せて複合化による建替えも検討するということであれば、中央公民館敷地も駐車場として活用するとか、いろんな手法が考えられますので、新庁舎の位置を高田川の東側という方向性の構想として、具体的には基本計画の中で立案・検討していきたいという提案がされています。

<会長>

他に何か意見はありませんか。

それでは今後、何か気づいたことがあれば、事務局へ知らせてください。

その他、事務局から何かありませんか。

<事務局>

事務局サイドでは、これまで国や県の財産管理関係部局などと話をさせていただき、それぞれの意見等を踏まえ、できる限り早く実現する計画としてまとめた案が資料3-1にあります。しかし、庁内でもまちづくりについて意欲的に考えてくれている若手職員が時間外にも関わらず意欲的にまとめた内容がワーキンググループ案（資料4）となっているので、このような意見もあるということで、これらの意見も踏まえた上での本編（資料3

－1)であることを確認してもらい、委員の皆様の意見をいただければと思います。

<会長>

先ほど事務局から話がありましたように、次回は3月22日に第3回目の意見交換会を予定しています。その前に2回の市民ワークショップがありますので、それらの結果も踏まえて、最終的に案としてとりまとめていけたらと考えています。その他何かありませんか。

<委員>

資料3-2は参考資料となっていますが、最終の基本構想を公表する時は、資料3-2の扱いはどうなるのでしょうか。移転・配置の具体的なシミュレーション案などが記載されていますが、基本構想として出すのか、それとも参考資料として切り離して扱うのでしょうか。

<事務局>

最終的には、資料3-1を基本構想（原稿）として公表することとし、資料3-2は根拠、分析のための資料として活用し、構想（原稿）に含めないものとして考えています。

<会長>

ただ説明をする時には、資料3-2が具体的に多くの施設を分析した資料だということを十分認識し、その活用については十分配慮していかなければならないと思います。

その他意見等ないようなので、本日の第2回大和高田市シビックコア周辺地区まちづくり意見交換会を終了します。

以上

平成29年1月18日(水) 開催

大和高田市シビックコア周辺地区まちづくり意見交換会 出席者

(敬称略・順不同)

【町総代】

名 前	所 属	備 考	出欠
浅井 廣	アサイ ヒロシ	高田校区(大中町)総代	出
松田 茂	マツダ シゲル	高田校区(西町)総代	出

【各種団体】

名 前	所 属	備 考	出欠
河村 憲一	カムラ ケンイチ	大和高田商工会議所 副会頭	出
田原 久義	タハラ ヒサヨシ	株式会社南都銀行高田本町支店 支店長	出
辻本 弘二	ツジモト コウジ	近畿労働金庫高田支店 支店長	出
後藤 秀雄	ゴトウ ヒデオ	奈良交通株式会社 乗合事業部長	出

【関係行政機関】

名 前	所 属	備 考	出欠
辻中 文男	ツジナカ フミオ	財務省近畿財務局奈良財務事務所管財課長	出
竹田 昌司	タケタ マサシ	奈良県警察高田警察署長	出
本村 龍平	ホンムラ リュウヘイ	奈良県地域デザイン推進課長	出
松岡 慎司	マツオカ シンジ	奈良県ファシリティマネジメント室長	副会長 出
木村 道仁	キムラ ミチヒト	奈良県道路環境課長	出
平塚 啓三	ヒラツカ ケイゾウ	奈良県高田土木事務所長	出

【アドバイザー】

名 前	所 属	備 考	出欠
三井田 康記	ミヰタ コウキ	畿央大学 健康科学部 人間環境デザイン学科教授	出

【大和高田市】

名 前	所 属	備 考	出欠
松田 秀雄	マツダ ヒデオ	副市長	会長 出
村上 裕	ムラカミ ヒロシ	企画政策部長	出
吉岡 輝明	ヨシオカ テルアキ	市民部長	出
安川 盛久	ヤスカリ モリヒサ	福祉部長	出
笹岡 貞宏	ササオカ サダヒロ	保健部長	出
田中 清隆	タナカ キヨタカ	環境建設部長	出
杉本 勝正	スギモト カツマサ	上下水道部長	出
植島 佳成	ウエジマ ヨシナリ	市立病院事務局長	出
巽 正也	タツミ セイヤ	教育委員会事務局長	出
赤土 孝子	アカツチ タカコ	議会事務局長	出
澤井 宏実	サワイ ヒロミ	企画法制課長	出
吉村 保喜	ヨシムラ ヤスキ	産業振興課長	出
岡川 秀文	オカガワ ヒデフミ	生活安全課長	出
津森 義憲	ツモリ ヨシノリ	社会福祉課長	出
高野 由子	タカノ ヨシコ	健康増進課長	出
佐藤 博美	サトウ ヒロミ	地域包括支援課長	出
勝山 孝	カツヤマ タカシ	土木管理課長	出
沼部 厚史	ヌマベ アツシ	都市計画課長	出
森本 佳秀	モリモト ヨシヒデ	市立病院医事課長	出
亀田 叔久	カメダ ヨシヒサ	生涯学習課長	出
谷河 照美	タニガハ テルアミ	財務部長	出
岡谷 延博	オカニ ノブヒロ	財産管理課長	出

兼事務局

事務局：財産管理課